

大塩平左衛門の努力

今から350年ほど前に、現在の^{げんざい}北塩原村に代官（だいかん）という役についていた大塩平左衛門という人がいました。

平左衛門は人々の願いを聞き、雄国沼から水を引いてくることを考え、工事をすることを^{あい}会津藩の殿様に願ひ出ました。

1657年、殿様からきよかをえた平左衛門は自分のお金を使って、他の人々と協力して^{きょうりよく}工事を始めました。平左衛門は次のようにして工事を^{こう}行おうとしました。

- ①雄国沼を大きくして、水をたくさんたくわえる。
(3倍の大きさにする)
- ②山をくりぬいてどう門（トンネル）を作り雄国沼から水を引く。
- ③引いてきた水を利用して、新しい水田をひらく。



大塩平左衛門

新しい田を作ろうと
考え、今の^{きょうりよく}大塩村などから人々が雄国地区にうつり住み平左衛門といっしょに工事に取りくみました。



②工事で広げられた雄国沼

①雄国沼を真上から見た図

